

## 2 年齢3区分別構成（表3、表4、表5、図4、図5、第2表）

年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）の3区分に人口を表したのが第2表です。平成12年時と比べ、全体的に年少人口の構成比率が下がり、逆に老年人口の同比率が上がっています。

各区分の構成比をみると、平成12年の年少人口比率上位の統計区では、その比率が20%を超えていましたが、平成17年では第1位の泉区「17 館・住吉台・根白石・実沢地区」でも19.8%と20%を割っています。また、老年人口についても、平成12年の構成比率第1位は青葉区の「28 作並・大倉・熊ヶ根地区」の24.1%でしたが、平成17年では第1位の宮城野区「07 鶴ヶ谷地区」が同比率で30.0%に達し、上位5位までが平成12年の第1位の比率を超えています。

### （1）年少人口（0～14歳）比率

統計区ごとに年齢3区分別人口の比率をみると、年少人口の比率が最も高いのは、泉区の「17 館・住吉台・根白石・実沢地区」の19.8%で、以下、太白区の「10 中田・西中田・柳生地区」が19.4%、泉区の「09 市名坂・七北田・松森・八乙女地区」が19.1%、青葉区の「26 栗生・落合・愛子東地区」が18.8%、泉区の「05 向陽台・明石南地区」が18.0%などとなっています。

一方、年少人口の比率が最も低いのは、青葉区の「02 一番町・中央地区」の6.3%で、以下、若林区の「06 新寺・連坊地区」が7.2%、若林区の「05 荒町地区」が7.6%、青葉区の「07 国見・八幡地区」が8.1%、宮城野区の「03 小田原・鉄砲町・二十人町地区」が8.2%などとなっています。

### （2）生産年齢人口（15～64歳）比率

生産年齢人口の比率が最も高いのは、宮城野区の「02 東九番丁地区」の80.1%で、以下、泉区の「07 松陵地区」が78.1%、泉区の「18 寺岡地区」が77.7%、若林区の「06 新寺・連坊地区」が77.6%、宮城野区の「01 五輪・銀杏町・宮城野地区」が77.2%などとなっています。

一方、生産年齢人口の比率が最も低いのは、宮城野区の「07 鶴ヶ谷地区」の58.0%で、以下、青葉区の「28 作並・大倉・熊ヶ根地区」が60.4%、宮城野区の「06 安養寺・自由ヶ丘地区」が63.6%、青葉区の「12 桜ヶ丘地区」が63.9%、太白区の「04 向山・八木山香澄町地区」が64.2%などとなっています。

### （3）老年人口（65歳以上）比率

老年人口の比率が最も高いのは、宮城野区の「07 鶴ヶ谷地区」の30.0%で、以下、青葉区の「28 作並・大倉・熊ヶ根地区」が29.3%、青葉区の「12 桜ヶ丘地区」が25.3%、太白区の「02 緑ヶ丘・土手内地区」が24.7%、青葉区の「02 一番町・中央地区」が24.5%などとなっています。

一方、老年人口の比率が最も低いのは、泉区の「09 市名坂・七北田・松森・八乙女地区」の7.6%で、以下、泉区の「01 泉中央・野村・上谷刈地区」が8.3%、泉区の「07 松陵地区」が9.2%、宮城野区の「11 宮千代・萩野町地区」が9.5%、泉区の「16 北中山・南中山地区」が9.8%などとなっています。

老年人口が特に高い統計区を地図上でみると、青葉区・太白区西部の地域、青葉区北部から泉区南東部、宮城野区北西部にかけての地域、太白区北部（向山～鉤取）の地域、泉区北部の地域、及び青葉区02の都心部などとなっています。

(4) 老年人口比率の前回との比較

老年人口比率が前回に比べ最も上昇したのは、宮城野区の「07 鶴ヶ谷地区」で7.8ポイント、以下、泉区の「04 将監地区」で6.5ポイント、青葉区の「12 桜ヶ丘地区」で6.0ポイントなどとなっています。

低下したのは4統計区のみで、青葉区の「05 木町通・春日町地区」で0.4ポイント、青葉区の「06 八幡・角五郎地区」で0.1ポイント、宮城野区の「02 東九番丁地区」で0.1ポイント、青葉区の「04 立町・川内地区」で0.1ポイント、それぞれ低下しています。

老年人口比率が特に上昇した統計区を地図上でみると、青葉区西部、青葉区30から北部にかけての地域、泉区南部と北部、及び宮城野区北西部などとなっています。

表3 年少人口比率の高い統計区と低い統計区 - 平成17年，平成12年

比率の高い統計区						比率の低い統計区					
平成17年			平成12年			平成17年			平成12年		
順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)
1	泉 区 17	19.8	1	泉 区 17	23.5	1	青 葉 区 02	6.3	1	宮 城 野 区 03	7.1
2	太 白 区 10	19.4	2	泉 区 02	21.9	2	若 林 区 06	7.2	2	若 林 区 05	7.9
3	泉 区 09	19.1	3	泉 区 07	20.0	3	若 林 区 05	7.6	3	青 葉 区 02	8.1
4	青 葉 区 26	18.8	4	青 葉 区 26	20.0	4	青 葉 区 07	8.1	4	青 葉 区 01	9.0
5	泉 区 05	18.0	5	太 白 区 10	19.8	5	宮 城 野 区 03	8.2	5	青 葉 区 09	9.0
6	泉 区 02	17.8	6	泉 区 16	19.2	6	青 葉 区 04	8.2	6	青 葉 区 24	9.2
7	太 白 区 11	17.1	7	泉 区 09	18.8	7	太 白 区 04	8.6	7	青 葉 区 20	9.2
8	青 葉 区 27	17.0	8	青 葉 区 30	18.8	8	青 葉 区 09	8.6	8	青 葉 区 05	9.2
9	宮 城 野 区 13	17.0	9	宮 城 野 区 13	17.8	9	太 白 区 03	8.8	9	太 白 区 03	9.3
10	若 林 区 09	16.9	10	泉 区 04	17.3	10	青 葉 区 20	8.8	10	青 葉 区 07	9.4

表4 生産年齢人口比率の高い統計区と低い統計区 - 平成17年，平成12年

比率の高い統計区						比率の低い統計区					
平成17年			平成12年			平成17年			平成12年		
順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)
1	宮 城 野 区 02	80.1	1	青 葉 区 24	78.7	1	宮 城 野 区 07	58.0	1	宮 城 野 区 07	63.9
2	泉 区 07	78.1	2	泉 区 08	78.7	2	青 葉 区 28	60.4	2	青 葉 区 28	64.3
3	泉 区 18	77.7	3	青 葉 区 16	78.1	3	宮 城 野 区 06	63.6	3	泉 区 17	65.5
4	若 林 区 06	77.6	4	泉 区 15	77.8	4	青 葉 区 12	63.9	4	青 葉 区 29	66.2
5	宮 城 野 区 01	77.2	5	泉 区 14	77.8	5	太 白 区 02	64.2	5	太 白 区 15	66.8
6	宮 城 野 区 11	76.8	6	青 葉 区 05	77.8	6	泉 区 04	64.4	6	宮 城 野 区 06	67.3
7	青 葉 区 16	76.7	7	宮 城 野 区 02	77.7	7	青 葉 区 29	64.5	7	宮 城 野 区 08	68.2
8	青 葉 区 24	76.5	8	泉 区 06	77.6	8	泉 区 11	65.0	8	太 白 区 02	68.2
9	宮 城 野 区 03	76.1	9	宮 城 野 区 03	77.4	9	泉 区 12	65.4	9	太 白 区 12	68.7
10	若 林 区 05	75.8	10	泉 区 18	77.2	10	青 葉 区 13	65.4	10	太 白 区 08	69.0

表5 老年人口比率の高い統計区と低い統計区 - 平成17年, 平成12年

比率の高い統計区						比率の低い統計区					
平成17年			平成12年			平成17年			平成12年		
順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)	順位	統計区	比率(%)
1	宮城野区 07	30.0	1	青葉区 28	24.1	1	泉区 09	7.6	1	泉区 07	5.9
2	青葉区 28	29.3	2	宮城野区 07	22.2	2	泉区 01	8.3	2	泉区 09	6.5
3	青葉区 12	25.3	3	青葉区 02	21.7	3	泉区 07	9.2	3	泉区 01	6.6
4	太白区 02	24.7	4	太白区 15	21.4	4	宮城野区 11	9.5	4	泉区 16	7.5
5	青葉区 02	24.5	5	太白区 02	20.8	5	泉区 16	9.8	5	泉区 18	7.5
6	太白区 15	23.6	6	青葉区 18	20.3	6	泉区 18	10.8	6	泉区 02	7.8
7	青葉区 18	23.5	7	青葉区 13	20.1	7	宮城野区 02	10.8	7	宮城野区 11	7.9
8	太白区 03	23.1	8	青葉区 12	19.3	8	泉区 02	10.9	8	泉区 14	8.8
9	青葉区 13	22.8	9	宮城野区 06	19.1	9	太白区 10	11.0	9	太白区 10	9.3
10	泉区 11	22.4	10	青葉区 29	18.8	10	青葉区 16	11.2	10	宮城野区 12	9.5

図4 老年人口比率の高い統計区 - 平成17年

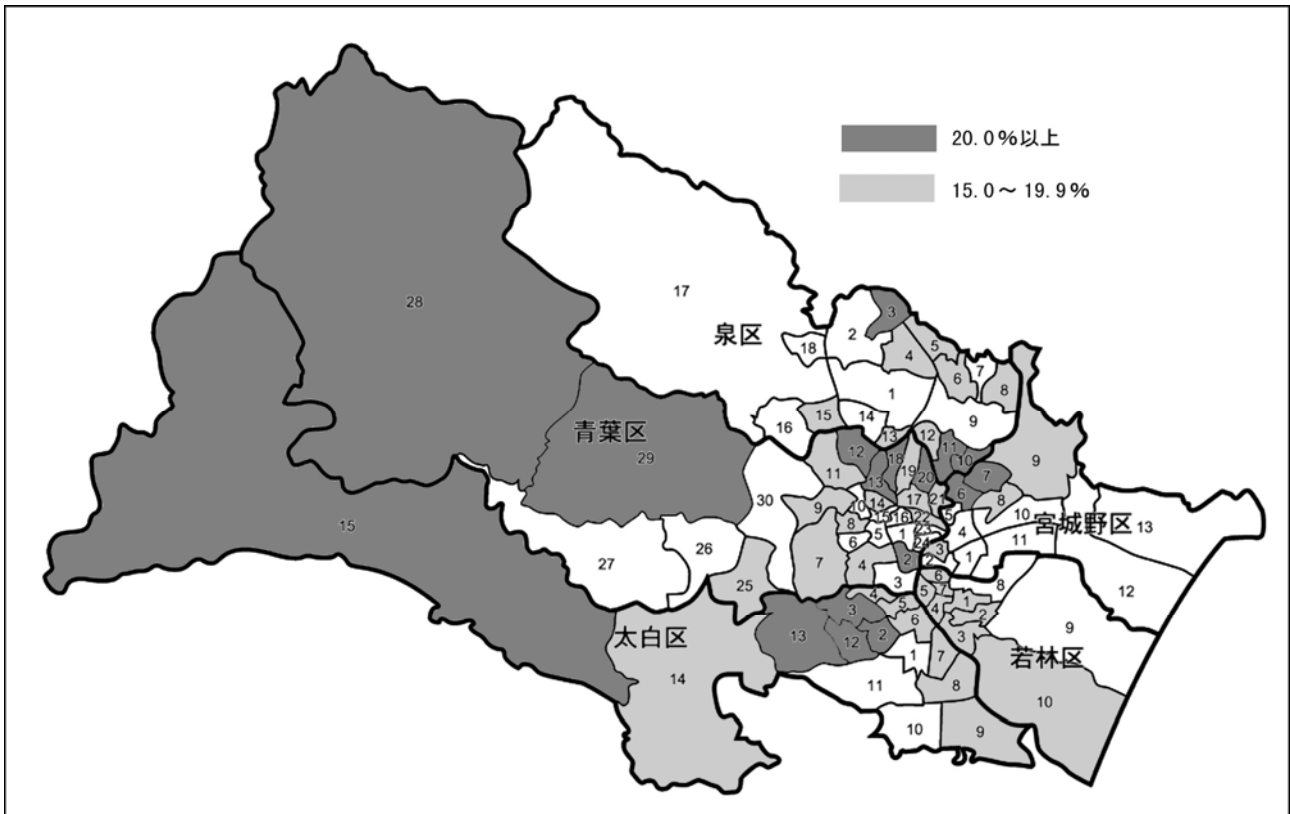


図5 老年人口比率が3.0ポイント以上上昇した統計区 - 平成12年～17年

